

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	仲 真紀子	所属	理化学研究所
研究会等名称	司法面接研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (【実施内容・成果】の各会に示す)。 2) 集会等の目的・成果等</p> <p>【集会の目的】 虐待等の被害が疑われる子どもに対し、精神的負担に配慮しつつ、正確な情報を多く収集する面接法 (司法面接; forensic interview) の研究領域の深化と拡大を目的として、勉強会を開催した。</p> <p>【実施内容・成果】 勉強会を4回おこなった。詳細を以下に示す。</p> <p>①司法面接ミニ研修 日時: 2023年10月20日 (金) 13:00-17:00 会場: B-nest 静岡市産業交流センター (7階 小会議室1・2) 概要: 司法面接半日研修 参加人数: 会員9名 (認定心理士3名), 非会員14名 (参加者リスト1)</p> <p>②集会 日時: 2023年10月22日 (日) 10:00-11:30 会場: 静岡大学静岡キャンパスL棟201教室 概要: 法と心理学会第24回大会ワークショップ「司法面接証拠化について——今後の課題と展望——」 参加人数: 会員9名 (認定心理士3名), 非会員7名 (参加者リスト2)</p> <p>③オンライン勉強会 日時: 2023年12月2日 (土) 10:00-13:00 会場: Zoom オンラインミーティング 概要: (1)10:05 - 10:55 【題目】: 音声データからの司法面接バックスタッフ支援システムの構築 【報告者】: 中田友貴さん (立命館大学立命館グローバル・イノベーション研究機構) (2)11:00 - 11:50 【題目】: 外国語通訳を介した子どもの司法面接: ウズベク語母語児童の模擬面接の分析 【報告者】: 赤嶺亜紀さん (名古屋学芸大学ヒューマンケア学部) (3)12:00 - 12:50 【題目】: 発話分析を取り入れた司法面接研修の効果と面接評価への影響 【報告者】: 武田悠衣さん (立命館大学大学院人間科学研究科) 12:50-13:00 連絡・相談など 参加人数: 会員10名 (認定心理士4名), 非会員5名 (参加者リスト3)</p> <p>④オンライン勉強会 日時: 2024年3月22日 (金) 18:30-20:00</p>		

会場：Zoom オンラインミーティング
題目：「体験の有無が司法面接の供述に与える影響——五感に関する情報二着目して——」
報告者：藤本和希さん（立命館大学大学院人間科学研究科）
参加人数：会員 8 名（認定心理士 3 名），非会員 1 名（参加者リスト 4）

【将来計画】

研究会の参加者を増やしながら，次年度も勉強会を開催し，司法面接に関する知見を発信していく予定である。

以上

(様式5)

2024年3月31日

日本心理学会研究会 令和5年度会計報告書

研究会名称 司法面接研究会

研究会番号 23016

助成金額 ￥30,000

年月日	項目	金額
2024年10月22日	木田秋津氏 講師謝礼 (旅費含む)	￥30,000

支出合計 ￥30,000